



平成 21 年 7 月 24 日



現在

▲災害はいつも突然やってくる。平成 21 年に発生した大雨災害では町内各地が冠水した

### 特集

# 万全に備えよう。

いつ起こるか分からない災害。備えに「早すぎる」ことはありません。いつ災害が起きても自分の身をしっかりと守れるように、必要な準備を考えましょう。

問い合わせ 地域づくり課

災害はいつ起こるか  
分からない

昨年 7 月、九州北部は記録的な豪雨となり、河川の氾濫や土砂災害が複数の場所で発生しました。この豪雨により多くの人が被災され、中には災害発生後も自宅に帰れず、避難所での生活を強いられる人もいました。また、今年の 4 月には大分県中津市で土砂災害が発生。被災場所では、直前に地震があったわけでもなく、また、数日間雨が降り続いたわけでもなく、まさに突然のできごとでした。

私たちは、災害が発生する場所や時間、規模を事前に知ることはできません。テレビや新聞で見たり、聞いたりするような災害が、いつ自分自身に襲いかかってくるか分からないのです。

梅雨時期を迎える前に  
災害に備えよう

岡垣町で想定される災害は、地震や津波、土砂災害などです。これから梅雨に入ると雨が多くなり、災害が発生する可能性も高まります。いざというときにすぐに行動できるよう、日ごろから高い防災意識を持ち、準備しておくことが大切です。

災害時に必要なものや連絡方法、避難場所などを、家族で話し合っておきましょう。

## 災害に備えた訓練をしています

町では年 1 回、大規模災害に備えた防災訓練を行っています。実践的な訓練で確実に災害対応能力を向上できるよう、毎年内容を絞って実施。今年度は 5 月 15 日に、ワークショップ形式で町内の危険箇所を白地図に落とし、避難経路などの情報を共有する訓練と、災害対策本部を立ち上げ、与えられた災害の状況に対応する実践的な訓練を行いました。いざというときに確実に対応できるよう、今後も訓練を続けていきます。





# 地域のみんなので 防災意識を高めよう

岡垣町では、有志の防災士による「岡垣町防災士連絡会」が立ち上がりました。今後は、地域の防災訓練などを支援しながら、地域の皆さんに災害時や防災の正しい知識を広めていきます。

## 地域で活躍する「防災士」

防災士とは、強い防災意識や災害に対する正しい知識・技能があると日本防災士機構が認めた人の

ことです。岡垣町防災士連絡会の対象は、岡垣町に住んでいる人や勤めている人。これまでは、それぞれが個別に活動していたため、誰がどのようなことをしているのか分からない状況でした。しかし今回、有志による連絡会を組織したことで、防災士のつながりができ、協力・連携して活動できるようになりました。

## 地域の皆さんに 防災の知識を伝えるために

岡垣町防災士連絡会は、災害時に避難誘導や避難所運営の協力などを行うほか、平常時には地域の防災力を高めることを目的に、自治区などで催される防災訓練での指導など、地域に根付いた活動を行う予定です。また、会議ではそれぞれの知識や経験を共有し、一人ひとりの防災士としての能力を向上させます。

## 災害時は地域のつながりが欠かせない

### 人と人とのつながりが大切

私は防災士の資格を取って今年で10年目になります。平成28年の熊本地震災害をはじめ、これまでいくつかの災害で被災地を支援してきました。その中で強く思うことは「地域のつながりの大切さ」です。

住民同士のコミュニティが強いところは犠牲者が少ないように感じます。災害時に隣近所で一つの民家に集まり、それぞれの家にある食材を持ち寄って一晩をしのいだり、倒壊した家屋の中から下敷きになった人を救ったりできるのは、日ごろのつながりがあるからこそだと思います。日ごろから近所付き合いを大切に、周

りの状況を把握しておきましょう。

### 自分の命は自分で守って

自分自身が生き延びるといふ強い意志を持つことも大切です。自分の命を自分で守らなければ、ほかの人を助けることはできません。

命を守るためにしなければいけないことを、まずは家族で話し合ってみてください。そして、もしものときに3日程度持ちこたえられる食料を準備しておいてください。

岡垣町では、過去に大きな災害がほとんどなく、今後も起こらないと安心してしまいがちですが、日ごろから気を抜かず、さまざまな対策に取り組みましょう。



岡垣町防災士連絡会  
会長 橋内政則さん

# 事前に十分準備しておこう

日ごろからできる災害対策はたくさんあります。もしものときにいち早く行動できるよう、災害時に必要なものや地域の避難所などを確認しておきましょう。

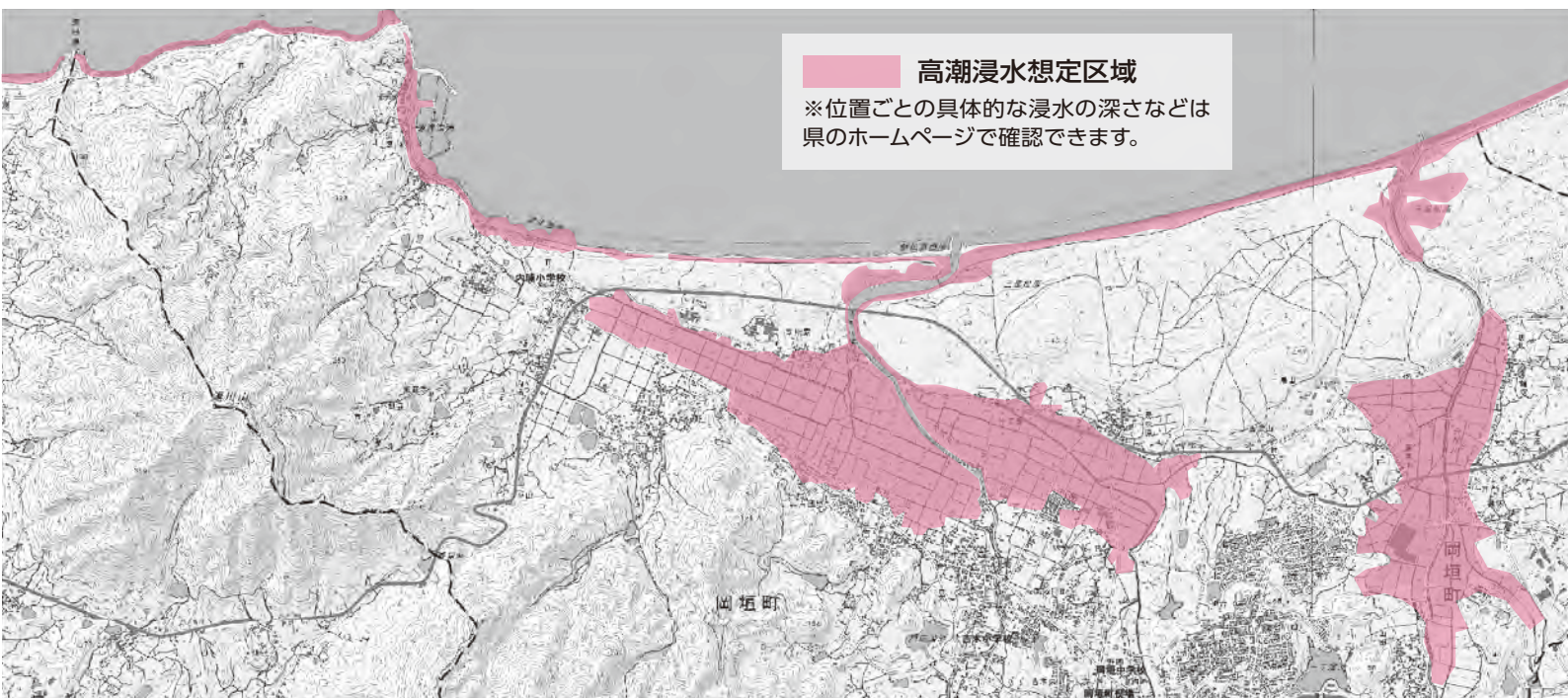
## 非常時の持ち出し品を確認しよう

飲料水や非常食、救急用品など、災害時に必要なものをあらかじめまとめて、いつでもすぐに出せるようにしておきましょう。普段使用する生活用品などは、日ごろから少し多めに備えておくと、災害時にも活用することができます。



## 危険区域を把握しておこう

岡垣町防災マップで地震や津波、土砂災害などの危険区域を知ることができます。防災マップは全戸配布しているほか、町公式ホームページから確認できます。また、福岡県のホームページでは、高潮による浸水想定区域図(下の図)が新しく公表されました。



## 最新情報をこまめにチェック

### ■洪水情報の緊急速報メール

遠賀川の氾濫の可能性が高まったときや氾濫が発生したときに、緊急速報メールが携帯電話に配信されます。洪水エリア内にいるすべての人が対象です。メールを受信したときは、川の水位や避難情報などを確認してください。

問い合わせ 遠賀川河川事務所 ☎ 0949-22-1830

### ■県防災ホームページ

河川の水位や雨量の情報をリアルタイムで確認できます。

<http://bousai.pref.fukuoka.jp/index.php>

※町からの緊急情報は、でんたつくんや公式ホームページ、Facebook、LINE@で発信します。

# あらゆる手段で 情報を収集しよう

災害時には、情報収集がとても重要です。普段利用している携帯電話やテレビ、ラジオのほか、行政からの情報を収集する方法を確認しておきましょう。岡垣町では、でんたつくんの戸別受信機を各世帯に配布しています。

## 戸別受信機の Q&A

4月から運用が始まったでんたつくん。皆さんから、戸別受信機の使い方に関する問い合わせをいただくことがあります。それらの疑問をここで解決します。

### Q 放送が流れない。

A コンセントが抜けていないか確認するか、音量調節つまみを回して音量を上げてください。

### Q 通常は緑色の役場・自治体ランプが赤色になっている。

A ランプが赤色のときは、まだ再生していない放送があることをお知らせしています。ボタンを1回押すと録音が再生され、停止ボタンで終了します。再生後はランプが緑色に変わります。

### Q 電池交換ランプが消えない。

A ランプが点灯しているときは、電池を交換してください。交換作業は、コンセントにつないだ状態で電源を切って行ってください。



### Q コンセントを抜いたらどうなる？

A コンセントを抜いたときや、停電したときは、電池で動きます。電池は約1日で消耗してしまうため、普段はコンセントにつないでおいてください。また、災害に備えて予備の電池を準備しておきましょう。

### Q コンセントにつないでいるときの電気代はいくら？

A 月20円程度です。

### Q 電源が入っているけど、放送が録音されない。

A 役場、自治体のボタンをそれぞれ長押しすると、録音しない設定に変わり、ランプが消えます。もう1度長押しすると録音する設定に

### Q 電源が切れているときは、音量を下げているときは、災害情報や緊急情報は聞こえない？

A 災害時などの緊急放送は、音量を小さくしていても、最大音量で放送されます。ただし、コンセントが抜け、電池も切れているなど、電源が供給されないときは放送されません。

### Q 引越すときはどうしたらよい？

A 町外に引越すときは、返却が必要です。転出届を出すときなどに持ってきてください。また、戸別受信機は放送される自治体を1台ごとに設定しているため、町内の転居でも、自治区が変わるときは一度返却してください。



### まだ設置していない世帯は

戸別受信機は、条例で全戸への設置を定めています。まだ設置していない世帯は、設置日などを決めるため地域づくり課に連絡してください。

### 事業所にも設置します

事業所内の安全のため、原則設置をお願いします。設置の際には申請書の提出が必要です。詳しくは地域づくり課に問い合わせてください。